

## 令和4年度村上地域区長会連絡協議会要望事項回答

### 1 旧村上総合病院及び周辺土地の有効利用について

旧村上総合病院の解体工事は、昨年度の要望の回答では令和6年度とのことでした。当該地はJR村上駅前の好条件の用地であり、解体後の利活用の方法について具体的にかつ早期に示していただきたく要望いたします。

解体後、跡地利用の具体化に時間を要するのであれば、例えば旧村上総合病院の正面玄関付近を市民が集える公園として開放したり、周辺の旧ジャスコ跡地を駐車場や登下校の送迎者が使えるロータリーとして有効利用したりするなど、村上市の窓口として、また市民にとって有益な利活用が図られるようお願いいたします。

#### 【回答】

旧村上総合病院の解体工事につきましては、JA厚生連において実施しますが、建物のアスベスト除去工事が令和5年の年明けから予定され、本格的な上屋の解体工事が令和5年夏頃から令和6年夏頃までと伺っており、10月26日にはJA厚生連から地元の区に対して説明会を実施しております。

解体後の跡地利用につきましては官々連携による行政機能を備えた施設のほか、官民連携によるにぎわいの創出を図られるよう取り組みを進め、具体化までの間の利用策についても併せて検討を行い、地域の皆様に対しても示させていただきます。

また、ジャスコ跡地の当面の有効利用策についても所有者であるイオンリテール株式会社や近隣の村上高校などと協議を行ってまいります。

(問合せ先：都市計画課)

### 2 『みなとオアシス越後岩船』関連要望事項

平成28年度に岩船港エリアが『みなとオアシス越後岩船』として登録されました。

『みなとオアシス越後岩船』は岩船地区から瀬波温泉地区までの海岸線に位置し、「岩船港緑地」・「岩船港直売所」・「粟島汽船営業所」・「岩船港海岸（岩船海水浴場から瀬波海水浴場までの海岸）」をはじめ、すばらしい自然や多くの観光資源に恵まれております。

地元でも各種イベントの開催や、令和元年度に緑綬褒章を受章した一斉清掃などの環境美化活動にも力を入れております。

つきましては、『みなとオアシス越後岩船』登録により、更なる交流人口の増加を図るべく、下記の2項目につきまして、昨年に引き続き要望いたします。

(1) 旧市民会館跡地等の有効活用について

現在、旧市民会館は閉鎖され、日本海スケートボードパークとして利用されていた体育館部分も『村上市スケートパーク』のオープンに伴い、現在は利用されておられません。

また、旧市民会館奥には『いこいの森児童公園』があり、休みになれば市内各地から親子連れが訪れてたいへんにぎわっております。

昨年開催された東京オリンピックではスケートボードが新たな競技に加えられ、日本人選手の活躍により人気が一気に高まったことから『村上市スケートパーク』を含めた旧市民会館一帯は観光においても地域内外の人々の交流の場としてもますます重要なスポットになりました。



旧市民会館



旧市民会館体育館



旧船員保険寮跡地



旧村上市老人ホーム跡地

今後は旧市民会館跡地に新たな遊具を設置するなど、恐竜公園と一体化した家族が無料で楽しめるエリアを創設し、旧船員保険寮跡地及び旧村上市老人ホーム跡地には日本海を一望できる休憩所を整備するなど、『村上市スケートパーク』に隣接した新たな観光・交流スポットとして『みなとオアシス越後岩船』エリアにより多くの人を滞留させられるよう、土地の有効活用を要望します。

## 【回答】

ご要望の旧船員保険寮跡地及び村上市老人ホーム跡地を含めた旧市民会館及びいこいの森児童公園一帯のエリアは、隣接する瀬波温泉からも近く、有効活用することで瀬波温泉から岩船港までのさらなる魅力向上が期待できるものと考えております。

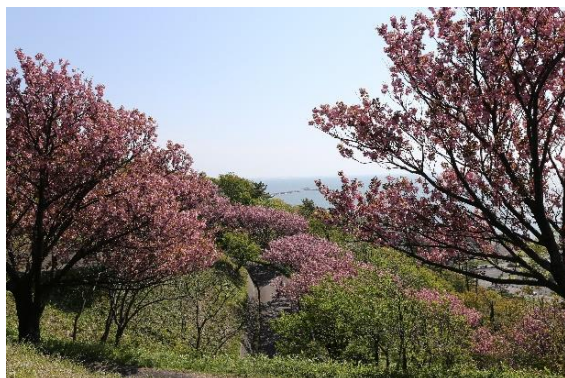
現在、旧市民会館敷地を日本スケートボーディング連盟が利用しているほか、船員保険寮跡地を消防本部が訓練に活用しておりますが、土地の利用価値を高め、有効活用につながるよう老朽化した施設を解体するなどし、民間活用を促すことなども含めて周辺エリアの土地の有効活用に努めてまいります。

(問合せ先：生涯学習課)

### (2) 諸上寺公園の整備について

諸上寺公園には多くの桜が植樹され、春には見事な八重桜が見られることから、桜の名所としても知られています。

当地区は『みなとオアシス越後岩船』の瀬波温泉地区と岩船地区の中間に位置し、登り口から頂上の諸上寺公園まで、道路に沿って八重桜が咲き誇る様は、さながら桜色の龍が頂上へと駆け登っているかのようでもあります。



諸上寺公園の八重桜



展望休憩所トイレ

旧村上市時代には、植樹や追肥等を行い維持管理がなされてきましたが、合併後は十分な管理が行われておらず、枯れ始めた木も見受けられます。

諸上寺公園が今後も桜の名所として、市民や『みなとオアシス越後岩船』を訪れた観光客に親しまれるように、計画的な桜の苗木の植樹や下草の伐採など必要な維持管理を要望します。

また、以前設置されていた諸上寺公園の展望台は『みなとオアシス越後岩船』エリア内随一の高さを誇り、屋上からはエリア全景を見渡すことができ、晴れた日には遠く粟島を望むことができましたが、老朽化のため使用禁止となり平成 29 年に解体されました。その後簡易な展望デッキが設置されましたが、従来のような眺望を望むことが出来ません。『みなとオアシス越後岩船』を中心とした観光振興の面からも、新たな展望台の設置と、併せて老朽化が著しいトイレの建て替えを要望します。

#### 【回答】

諸上寺公園の桜については、定期的に桜植栽地や遊歩道の下刈りを行うとともに、随時支障木の伐採も行っております。引き続き市民や観光客に親しまれる公園として維持管理を実施してまいります。

また、苗木の植樹については、今年度 20 本程度を予定しており、今後も引き続き実施したいと考えております。展望デッキについては、従来の展望台よりも低く、更新について検討してまいります。平成 30 年度に設置したものであり、まずは前方の桜の枝の伐採により眺望の改善に努めてまいります。

諸上寺公園のトイレについては平成 10 年度に設置されたものですが、市内には屋外に設置のトイレが 50 か所程度あります。市では古いものや傷んでいるものから順次更新等について検討してまいります。

(問合せ先：環境課)

### 3 環状 3 号線の早期開通について

瀬波温泉トンネルから先の環状 3 号線については、地元の瀬波地区のみならず、他地区からも長年にわたり要望が出されており、村上市都市計画マスタープランの中でも広域幹線道路に位置付けられている重要な路線です。この瀬波温泉トンネルから先の環状 3 号線について、平成 15 年 8 月に当時の村上市長と村上土木事務所（現在の新潟県村上地域振興局地域整備部）に瀬波地区区長が連名で環状 3 号線の早期開通の要望書を提出しており、それ以降も早期開通の要望を繰り返しております。

しかしながら、同路線に大きな影響を及ぼす村上総合病院が移転・開院し、それに伴い県においては、村上総合病院へのアクセス道路としての松山バイパス全線開通を最優先に事業を進めているということと、整備の必要性や効果の客観的な整理が必要ということで、国道 345 号瀬波温泉トンネル先線の事業化については現時点では目処が立っていない状況です。

平成 28 年 6 月の村上市議会第 2 回定例会の一般質問において瀬波温泉トンネル先線の整備に関する質問が提出され、市長は「瀬波温泉トンネル先線の整備を行うことは、村上駅西地区や新築される村上総合病院などへの山北からの海岸線沿線地区や瀬波地区からのアクセスの向上、村上駅西地区内の移動の円滑化が図られるほか、村上駅周辺のまちづくりにおいても重要な路線であると考えられます。今後もこれまでおこなってまいりました通常の要望活動に加え、岩船郡村上市土木振興会からも強く関係機関へ要望活動を行ってまいりますとともに、整備手法につきましても県と連携を図りながら研究・検討を行ってまいります。」と答弁しています。

また、令和 2 年 9 月開催の村上市議会第 3 回定例会でも同様の質問があり、市長は「要望活動は行っているが、県からは松山バイパス全線開通を最優先に事業を進めているということで、国道 345 号瀬波温泉トンネル先線の事業化については現時点では目処が立っていない状況であるという回答を受けているが、引き続き要望していく」と答弁しています。このことから市としても重要な路線と位置付けているということ



で、新潟県に環状3号線を事業化してもらい、実施年度などの事業計画を示す必要があると思われまます。

この懸案事項である環状3号線の早期開通に向けての事業化と事業実施年度の明確化を村上市から新潟県へ働きかけていただくよう強く要望いたします。



瀬波温泉トンネル先道路予定箇所



学校町中等教育学校裏通行止め箇所

#### 【回答】

都市計画道路「環状3号線」の未整備区間となる瀬波温泉トンネル先線につきましては、国道345号のバイパスと位置づけ、これまでも県に強く事業化の要望を行ってまいりましたが、なかなか進展しない状況が続いております。

今後は、村上総合病院の移転を機に、村上駅西側の市街地では賑わいをもたらす土地利用が進み、人や車の流れが多くなっていくことが予想されますので、県には松山バイパスの早期全線開通と併せ、環状3号線の早期事業化についても引き続き要望してまいります。

(問合せ先：都市計画課)

#### 4 山辺里体育館（旧山辺里中学校体育館）の改修について

山辺里体育館は、昭和54年7月の建築から40年以上が経過し、スレート屋根の剥離や老朽化による雨漏り、外壁や鉄骨の腐食・劣化・ひび割れ、内壁の損傷・汚れによる鳥類等の侵入もあり、そして床の劣化など老朽化も顕著であります。また給排水設備及びトイレも利用できない状態です。

しかし、この体育館は地域内外のスポーツ愛好者の利用をはじめ、市内の各種団体など、子どもから高齢者まで多くの利用があり、令和3年度の実績は、利用件数491件、利用延べ人数4,280人となっています。

今年度も昨年度に引き続きコロナ禍のため中止となりましたが、毎年4月に開催している山辺里地区敬老会の会場としても地域に親しまれている施設であり、東日本大震災の際には、救援物資の保管施設として利用されるなど、村上農村環境改善センターと一体となった地域の重要な拠点施設となっております。

したがって山辺里体育館は、山辺里地区及び村上市のスポーツ振興、協働のまちづ

くりの推進、そして地域の安全・安心な市民生活のためには、必要不可欠な施設でありますので、廃止は行わず大規模改修または改築されるよう強く要望します。

**【回答】**

廃校を利用した体育施設については、昨年度策定したスポーツ施設整備計画に基づき、耐用年数を経過し、大規模改修が必要となった際には、建て替えをすることなく施設を廃止することとしています。

しかしながら、山辺里体育館（旧山辺里中学校体育館）については地域の拠点施設である村上農村環境改善センターと一体となって、地域にとって利便性の高い施設であることは認識しておりますので、地域のコミュニティの場として整備できないか検討してまいります。

（問合せ先：生涯学習課）

## 5 有害鳥獣駆除後の適正処理について

表題の件について、令和3年度要望しましたところ、「適正な処理を行うためには関係機関、猟友会との連携が必要なことから関係機関と協議しながら、より有効な処理方法の検討を進めていく」旨の回答をいただきました。

上海府地区においては、町づくり推進委員会が中心となり、本年度から「有害鳥獣対策事業」としてわな猟の免許取得のための人材育成や猟具の購入に取り組む集落に助成を予定しております。

市側も有害鳥獣駆除後の処理方法の実証実験を進めているとも聞いておりますが中間報告をお願いします。

**【回答】**

近年、市内においてイノシシの個数体が急増していることから、市の焼却施設での処理について実証実験をしております。実施したのは現在のところ1頭ですが、猟友会の協力のもと、捕獲したイノシシを切断し、プラスチック製の容器3個に分けて密封した後に焼却を行いました。これにより、焼却処理が有用であることの確認はできましたが、捕獲したイノシシの保管方法や搬入方法についても検討する必要があることから、引き続き猟友会とも協議しながら実証実験を継続してまいります。

また、今年度はイノシシの埋設処分を支援するため、捕獲集落単位で小型重機での処理を予定しております。

（問合せ先：環境課）